

平成30年度アレルギー疾患診療に関する医療機関調査 報告 (食物アレルギーやアナフィラキシーに関する診療状況)

【調査概要】

○ 調査内容

保育所、学校等のアレルギー疾患のある園児、児童、生徒等の集団生活における支援を主な目的とし、食物アレルギーやアナフィラキシーに関する診療状況を把握する。

○ 対象医療機関

県内で小児科を標榜している医療機関 1,130 か所

病院 116 か所

診療所 1,014 か所 (埼玉県医療情報機能提供システムより)

○ 調査方法

調査依頼は郵送、回答は FAX

※県医師会から、郡市医師会を通し、会員宛に調査への協力を依頼いただいた。

<回答状況>

1 調査票送付数と回答数

	送付数	回答数 (回答率)
病 院	116	72 (62.1%)
診療所	1,014	313 (30.9%)
計	1,130	385 (34.1%)

2 公表等への同意数

* ホームページへの掲載及び学校・保育所・県・市町村への情報提供

	いずれも可	ホームページは不可 学校等への情報提供は可	いずれも不可
病 院	37 (51.4%)	21 (29.2%)	14 (19.4%)
診療所	126 (40.3%)	88 (28.1%)	99 (31.6%)
計	163 (42.3%)	109 (28.3%)	113 (29.4%)

3 調査結果(地域別、診療対応機関数)

■病院(72)

①公表可の病院(37)

医療圏	病院数	負荷試験 (外来)	負荷試験 (入院)	エピペン	指導表
南部	6	2	4	5	5
南西部	1	1	1	1	1
東部	3	2	3	3	3
さいたま市	5	4	3	5	5
県央	2	1	2	2	2
川越比企	6	2	1	6	4
西部	5	1	1	4	4
利根	6	2	2	4	3
北部	1	0	0	0	1
秩父	2	1	1	1	1
合計	37	16	18	31	29

②公表不可の病院(35)

医療圏	病院数	負荷試験 (外来)	負荷試験 (入院)	エピペン	指導表
南部	1	0	0	1	1
南西部	3	0	2	2	2
東部	3	0	0	0	2
さいたま市	4	2	1	3	4
県央	2	0	0	2	2
川越比企	9	0	0	1	4
西部	6	0	0	3	4
利根	4	1	0	4	3
北部	3	0	1	1	2
秩父	0	0	0	0	0
合計	35	3	4	17	24

■診療所(313)

①公表可の診療所(126)

医療圏	診療所数	負荷試験 (外来)	負荷試験 (入院)	エピペン	指導表
南部	10	0	0	5	6
南西部	8	0	0	3	6
東部	16	1	0	13	15
さいたま市	22	1	0	15	19
県央	13	0	0	7	10
川越比企	19	5	0	16	17
西部	17	6	0	13	14
利根	11	2	0	7	9
北部	9	0	0	7	9
秩父	1	0	0	0	0
合計	126	15	0	86	105

②公表不可の診療所(187)

医療圏	診療所数	負荷試験 (外来)	負荷試験 (入院)	エピペン	指導表
南部	15	0	0	8	11
南西部	21	0	0	9	16
東部	22	1	0	9	11
さいたま市	31	2	0	10	15
県央	24	1	0	13	21
川越比企	22	1	0	6	11
西部	23	1	0	11	11
利根	12	0	0	4	6
北部	17	1	0	7	11
秩父	0	0	0	0	0
合計	187	7	0	77	113

食物負荷試験が可能な医療機関【公表可の施設】

- 食物負荷試験が可能な病院
- : 入院・外来とも可 (12)
 - : 外来のみ可 (4)
 - ◎ : 入院のみ可 (6)
- 食物負荷試験が可能な診療所 □ : 外来のみ可 (15)

